

温室効果ガス排出削減への貢献証明書

対象 / Cedyna Card AXU 缶バッジ 1kg-CO₂のオフセット

プロジェクト名称 / 木質バイオマス発電事業
コブリッツ・ピラティニ・エネルギー・バイオマス電力発電所
小規模CDMプロジェクト

オフセット手段 / 木材残渣を燃料としたバイオマス発電事業 (再生可能エネルギー)

対象地 / ブラジル連邦共和国リオ・グランデ・ド・スル州ピラティニ市

Cedyna
1 AXU
1kg
ソトコト
CO₂
Offset
オフセットした量 / 1/30,000kg

発行 / 株式会社木楽舎

地球温暖化は、世界的な天候不順、海面上昇、作物への影響などをもたらし、私たちの生活を脅かすと考えられています。その原因とされる温室効果ガスの削減は今や世界的な課題です。1997年に京都で開催された気候変動枠組条約締結国会議で採択された京都議定書で、日本は温室効果ガスの排出量を2008年から2012年の間に基準年(原則1990年)に比べ6%削減することを約束しております。2005年には京都議定書は発効、世界的に温室効果ガスを削減しようとする努力が本格化しています。

日本でも長年、省エネ技術により温室効果ガスの削減に努めてきており、1990年にはすでに国際的にみて高いエネルギー効率を達成していました。このため、大幅な温室効果ガスの削減は容易ではなく、6%削減という厳しい目標を達成するためには、改善余地の大きな途上国と協力して、地球規模で温室効果ガスを削減する取り組みも必要になってきています。

そこで出てきたのが「CO₂排出権」という手法です。これは、先進国が途上国と共同でCO₂削減につながる事業(CDM:クリーン開発メカニズム)を実施し、その削減量を自国の削減分のクレジットとして活用し、オフセット(相殺)するものです。

この京都議定書で認められた手法に則った様々なCDM事業には、風力や小型水力、木質バイオマスなど、自然エネルギーを活用したプロジェクトが数多くあります。これらのCDMによる排出権取引は、自らのCO₂がオフセットされるだけでなく、途上国の支援や、地球全体のCO₂削減にも貢献することにつながるものです。

月刊ソトコトを発行している木楽舎は、国際協力銀行の協力を得て、国連が承認したCDMプロジェクトから創出されたCO₂排出権を購入いたしました。この証明書は、「Cedyna Card AXU 缶バッジ」を受け取られた方が、1キログラム-CO₂相当の温室効果ガス排出削減に貢献したことを証明するものです。木楽舎は、購入した排出権を、責任を持って管理し、気候変動枠組条約・京都議定書において日本国が約束した温室効果ガス排出削減目標(1990年比-6%)達成のために、日本国政府の償却口座に移転することをお約束します。

2010年5月13日
株式会社木楽舎

代表取締役 小黒一三

※木楽舎が購入したCO₂排出権の詳細については、月刊「ソトコト」のホームページ(<http://www.sotokoto.net/>)を参照ください。